

学習環境整備

< 資料編 >

1. 就業時間外の教育訓練について

就業時間外の教育訓練

(昭和 26 年 1 月 20 日付け基収第 2875 号、平成 11 年 3 月 31 日基発第 168 号) (抄)

労働者が使用者の実施する教育に参加することについて、就業規則上の制裁等の不利益取扱による出席の強制がなく自由参加のものであれば、時間外労働にはならない。

しかし、臨床研修病院や指導医により出席が強制される教育については、労働時間に該当するものと考えられる。さらに、近年の裁判においては、研修医の労働者性を認める判決が出され、「研修医は労働基準法 9 条の『労働者』に該当しない」との病院側の主張が退けられている。

2. 研修医の労働者性に関する判例(関西医大附属病院研修医の例)

平成 10 年 3 月に関西医科大学を卒業し、同年 6 月 1 日から附属病院の研修医になった医師が、同年 8 月半ばに自宅で急性心筋こうそくで倒れ、急死した事件。その両親は、これは過労死であり、かつ大学病院が研修医を労働者扱いせず、共済制度に加入させなかったり、最低賃金を下回る報酬しか支給しなかったのは違法だとして同大を相手取って訴訟を起こした。

平成 13 年 8 月 28 日大阪地裁判決(抄)

研修医は、研修目的からくる自発的な発意の許容される部分を有し、その意味において特殊な地位を有することは否定できないが、全体としてみた場合、他人の指揮命令下に医療に関する各種業務に従事しているといえることができるので、A は「労働者」に該当すると認められる。

平成 14 年 5 月 9 日大阪高裁判決(抄)

控訴人は、控訴人病院で研修を受ける臨床研修医と控訴人の関係は、教育者と被教育者の関係であって、研修医は労働基準法 9 条の「労働者」に該当しないと主張する。労働基準法 9 条は、労働者を「職業の種類を問わず、事業又は事務所(中略)に使用される者で、賃金を支払われる者」と定義しており、A が労働基準法上の労働者に該当するかどうかは、専ら上記労働基準法の規定の解釈にかかる問題である。そして、同規定の解釈上、A を労働基準法上の労働者と見るべきことは、引用にかかる原判決が述べるとおりである。(中略)

臨床研修医は、既に医師国家試験に合格し、医籍に登録され、医師免許証を交付されて医業をなし得る医師であり、将来一定の資格を取得しようとする上記実習生等^(注)とその地位を並列的に捉えることはできない。のみならず前記認定のとおり、A が従事していた研修の具体的な内容は、点滴、採血は自らこれを行い、指導医の許可を得た場合には A が一人で患者に対する処置をすることもあるというのであるから、患者に対する関係において、研修医の行為と研修医でない医師の行為とが明確に区別されているとは認められず、研修医の勤務状況も研修機関である控訴人病院において管理されていたものと認められる。

^(注)商船大学及び商船高等専門学校の工場実習生

< 資料編 >

研修医のための情報源

1 次情報と 2 次情報

1 次情報: いわゆる原著論文

2次情報: 第3者により既に批判的吟味がなされている、より労力の少ない情報源

よく使う2次情報

- ・ UpToDate

- * <http://www.uptodate.com/>

- * 電子教科書。Evidenceに基づき記載されている。Evidenceが無いものについても何がしか記載されている。年3回 Up Date される。CD、Web で利用可能。

- ・ Clinical Evidence

- * <http://www.clinicalevidence.com/ceweb/conditions/index.jsp>

- * 治療についての疑問が明確な時はまずこれを読む。Evidenceの有無が明確に書かれている。年3回 Up Date される。CD、Web、書籍で利用可能。書籍は日本語版あり。

- ・ Cochrane Library

- * <http://www.cochrane.org/index0.htm>

- * 治療について (Systematic Review) を知りたければ最適の情報源。年3回 Up Date される。CD、Web で利用可能。

- ・ ACP Journal Club (Best Evidence)

- * <http://www.acponline.org/journals/acpjc/jcmenu.htm>

- * 論文を手軽に読みたい時には最適。研究手法について、一定の基準を満たした論文の内容が、A4 1枚に要約されている。2ヶ月に1回雑誌媒体として出版。雑誌、Web で利用可能。

- ・

InfoPOEMs

- * <http://www.info poems.com/>

- * American Family Physician で編集されている Evidence 集。POEM は Patient-Oriented Evidence that Matters の略。非常に手軽に利用できる。Web、PDA (infoRetriever) で利用可能。

- ・ DynamicMedicine

- * <http://www.dynamicmedical.com/>

- * 電子教科書。カテゴリー分類(頻度、病歴、身体所見、治療、予後)が明確で、最新の Evidence に基づいて書かれている。最新の論文が1週間前後で内容に反映されている。情報源となっている論文も簡単にたどることができる。Web で利用可能。

- ・ MDConsult

- * <http://www.mdconsult.com/>

- * 電子教科書。Cecil, Nelson 等の有名教科書、各種ガイドラインを多数見ることができる。北米系の Sub major journal を Full Text で見ることができる。Web で利用可能。

- ・ Diagnostic Strategies for Common Medical Problems (ACP)

- * 通称 Panzer の赤本(この本は Best Evidence に含まれる)

- ・ Evidence-Based Physical Diagnosis (McGee Saunders)

- * 身体所見についての感度、特異度、尤度比が幅広くまとめられている。マクギーの身体診断学の書名で日本語訳もある

- ・ ガイドラインクリアリングハウス

- * <http://www.guidelines.gov/index.Asp>

- * ガイドラインを探すならここ

- ・ 日本語のガイドライン

- * <http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/guideline/>

- * 日本語のガイドラインを探すならここ

- ・ JAMA の Rational Clinical Examination シリーズ

- * 病歴と身体所見についての総説

- ・ PubMed 検索法(日本語)に関する使いやすいマニュアル

- * <http://www.jikei.ac.jp//micer/pubguide.htm>

- * <http://www.medical-tribune.co.jp/benri/newpubmed/newpubmed.htm>

- * <http://www.medical-tribune.co.jp/benri/pubmed/pubmed.htm>

- * <http://www.medical-tribune.co.jp/benri/pubmedadv/pubmedadv.htm>